

総合演習(助動詞)

1 次の各文中から助動詞をそのままの形で、それぞれ二つずつ抜き出して書きなさい。

- ① きょうは、一日中雨が降りました。() ()
- ② 明日の朝、登校したら、みんなで走ろう。() ()
- ③ もう秋も終わりなのに、暖かい日が続きそうだ。() ()
- ④ 思いがけぬ落とし穴に、はまってしまった。() ()

2 次の①～⑥の各文中の「れ」と同じ意味・用法のものを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 文学への関心は、思い出と結びつくように思われた。()
 - ② 人間は、お互いに深く結びつかなければならぬ。()
 - ③ 低い壁に囲まれた小さな家に住んでいた。()
 - ④ その本がおもしろくなければ、返してほしい。()
 - ⑤ 優れた登山家である彼には登られない山はない。()
 - ⑥ きょう、伯父さんが東京から帰られた。()
- ア 彼が行かなければ私が行く。
 イ 先生が話されたことをまとめておく。
 ウ 昔のことが思い出されてならない。
 エ かわいがっていた愛犬に死なれた。
 オ 長い間、眠られぬ夜を過ごした。
 カ 値段が高ければ買わないつもりだ。

3 次の文を読んで、あとの一・ニの問いに答えなさい。

「雨が降り^①そうだ」という言い方と、「雨が降る^②そうだ」という言い方とは、意味が異なる。

一 「あの人は物わかりがよい。」という文に、——線①と同じ意味の「そうだ」を続けた形を、「あの人は物わかりが」までを生かして書きなさい。

○あの人は物わかりが()。

ニ ——線部①・②の「そうだ」の意味を、それぞれ次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 伝聞 イ 不確実な断定 ウ 推量
- エ 様態 オ 例示
- ① () ② ()

4 次の文の「ように」と同じ意味・用法のものを一つ選び、記号で答えなさい。

- 雲間からさつと陽光がさしたように微笑んだ。()
- ア 私は、読書をか
なり早くから始めたように思う。
 イ 朝早く起きようにも、目がなかなかなかない。
 ウ 記憶は、霧のか
なたに見える景色のよ
うにぼんやりしている。
 エ 母のおかげで、早く文字が覚えられたように思う。

クラス
氏名

5 次の各文中の——線部の助動詞のうち、他と違う意味をもつものを一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① ア 雨が降りそうだ。 イ 彼も行くそうだ。
 ウ 天気は良いそうだ。 エ わからないそうだ。()
- ② ア 彼のような人が好きだ。 イ 考えているような気がする。
 ウ 知らなかつたようだ。 エ まだ来ていないようだ。()
- ③ ア 夏の海で泳いだだ。 イ 彼はぼくの弟だ。
 ウ 鳥が高く飛んだだ。 エ 荷物を運んだだ。()
- ④ ア もつと歩こう。 イ もうよかろう。
 ウ 練習を始めよう。 エ そうじをしよう。()
- ⑤ ア そんなにはあるまい。 イ 弟も、怠けはしまい。
 ウ 彼にはできまい。 エ 私はもう走るまい。()

6 次の文の「らしい」と同じ使い方のものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 山田君はいかにもスポーツマンらしい。
 イ おばさんにいただいた人形は愛ららしい。
 ウ 雲の動きでは明日はどうやら雨ららしい。
 エ 二月でこんなに温かい日はめずららしい。()

7 次の各文中の「ない」と同じ意味・用法のものを、あとのア～オから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① こんなことしか思いつかない。()
- ② きょう、野球の練習はない。()
- ア あの人には温かみがない。()
- イ 彼女の口ぶりはそつけない。()
- ウ 彼の行動は情けない。()
- エ その意見は認められない。()
- オ 人の命は短くはかない。()

8 次の文章中の——線①・②「れ」の文法上の意味を、次のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

「気をつけたまえ！ ほら、こんなに焦げてしまったじゃないか」
 ぐらいのことは言われて当然だった。ところが彼はぼくの不始末を
 とがめるどころか、笑みをたたえ、「どうぞ、気にしないでください。
 よくあることですから」と言われた。

- ア 受身 イ 可能 ウ 尊敬 エ 自発
- ① () ② ()

これで文法の学習は一通りやったね！
 足りないプリントがある人は、先生に言って、もらってね。
 次からは紛らわしい品詞の識別に入るよ。
 入試までにマスターするぞ!!

